

# 令和4年度地域運動部活動推進事業 合同部活動に関する実践研究 成果報告書（概要）

## 西宮市

### （地域における現状・課題）

本市は人口48万人を超える中核市ではあるが、人口密集地とそうでない地域があり、市内に合計20校ある中学校・義務教育学校の生徒数に大きな差がある。生徒数推計によれば、5年後には中学校・義務教育学校全体で約300人が減少すると予測されているが、学校により約80人減少する学校もあれば、約40人増加する学校もある。学校規模も870人を超える学校から100人をわずかに超える学校もあり、学校間で生徒数の差が開いている。こうした学校規模の差は、子供たちの部活動の選択肢や活動環境にも影響を与えることとなる。特に小規模校においては、今後の部活動を持続可能なものにしていくための改革が喫緊の課題と認識している。

### （合同部活動の取組概要）

実践研究校：西宮市立浜甲子園中学校、鳴尾南中学校、高須中学校  
活動場所：実施校各中学校施設、公営スポーツ施設(テニスコート、プール)  
指導者：教員  
移動手段：徒歩

活動種目：野球、陸上競技、水泳競技、男子バレーボール、女子ソフトテニス、サッカー、柔道  
会費等：なし

### （実践研究の成果）

合同での活動となる前は運動系部活動が各校で6～7部活なのであったものが10部活設置できるようになり、令和4年度は合計169名の生徒が合同により活動している。合同部活動の実施について、アンケート結果からは生徒、保護者では90%以上が「良かった」と回答している。教員についても「良くなかった」と回答したものは0%であった。また、実施して良かったと思われることとして、教員は「生徒の部活動の選択肢が拡大される」「部員数が増えることで活動内容が充実する」、生徒は「他校の先生や生徒と一緒に活動できる」、保護者は「他校の先生や生徒と一緒に活動できる」「部活動の選択肢が増えた」とする回答が多く見られた。

### （運営体制図）

